

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道183号 鍵掛峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県庄原市西城町高尾 至：鳥取県日野郡日南町新屋	延長	12.0km		
事業概要	江府三次道路は、広島県三次市から鳥取県日野郡日南町に至る延長約90kmの地域高規格道路である。鍵掛峠道路は、地域高規格道路「江府三次道路」の一部を担う延長約12kmの2車線道路である。				
事業の目的、必要性	一般国道183号は、鳥取県と広島県北部を連絡する唯一の幹線道路で、広島市から米子市に至る延長約81kmの道路である他、周辺地域の社会基盤を担う重要な路線である。 しかしながら、鳥取県及び広島県境付近は、道路線形が劣悪であるうえ、雪寒地域であり、交通の難所となっている。また、異常気象時事前通行規制区間が存在し、代替路線も確保されていない状況である。 鍵掛峠道路は、交通難所の解消、代替路線の確保等による交通機能の向上と地域連携の強化を目的とした道路である。				
全体事業費	230億円		計画交通量	4,000台/日	
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
鍵掛峠道路は、現道の隘路区間の解消等に重要な役割を果たすことが期待されており、庄原市長をはじめとする2市5町の首長で構成される地域高規格道路江府三次線建設促進期成会より早期整備の要望（H16.7.27）他、多くの団体から同様の要望をうけている。

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：186億円 （事業費：174億円 維持管理費：12億円）	総便益：321億円 （走行時間短縮便益：313億円 走行費用減少便益：8億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年 平成16年
	感度分析の結果		交通量変動 B/C=1.6 (交通量-10%)	B/C=1.9 (交通量+10%)	
			事業費変動 B/C=1.9 (事業費-10%)	B/C=1.6 (事業費+10%)	
			事業期間変動 B/C=1.8 (事業期間-20%)	B/C=1.7 (事業期間+20%)	
事業の影響	評価項目	評価	根拠		
	渋滞対策	-	注目すべき影響はない		
	事故対策	◎	死傷事故率が高い区間の事故の減少が見込まれる 死傷事故率が高い箇所での対策事業である ・年間死傷事故率 250件/億台キロ（鳥取県側：県内平均 56件/億台キロ） ・年間死傷事故率 162件/億台キロ（広島県側：県内平均 116件/億台キロ） （全国平均 122件/億台キロ） 冬期における安全性の向上、線形不良区間（最小半径10m、最急勾配12.5%）の解消が図られる		
	歩行空間	-	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響		住民生活 ○ 積雪時の高速バス（米子～広島）の定時性が確保される 地域経済 ○ 現道の隘路区間の解消が図られる 日南町の主要産業である林業の物流の効率化が図られる 災害 ◎ 通行止め時に孤立する集落を解消する（日南町多里） 異常気象時事前通行規制区間（連続雨量200mm以上、3.2km）および法面崩壊危険箇所（西城町小鳥原）が回避される 環境 - 注目すべき影響はない 地域社会 ○ 周辺にはクロカンパーク等の観光施設が存在し、地域社会への貢献が期待される		
事業実施環境		○ 広島県の備北地域発展プラン（13年度）に整備の位置づけられる事業で、これらプロジェクトの支援となる。			

採択の理由

費用対便益比が1.7と、便益が費用を上回っているとともに、事業化に必要な調査が全て完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所は、交通難所の解消や冬期における安全性の向上等が見込まれることから、事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。